

上里スマートIC 第12回地区協議会

令和8年3月6日

今回の地区協議会の目的

「スマートIC整備事業制度実施要綱」に基づき、本スマートICにおけるフォローアップを行うもの。

スマートIC整備事業制度実施要綱 <抜粋> 令和元年9月30日施行

2. 地区協議会の設置

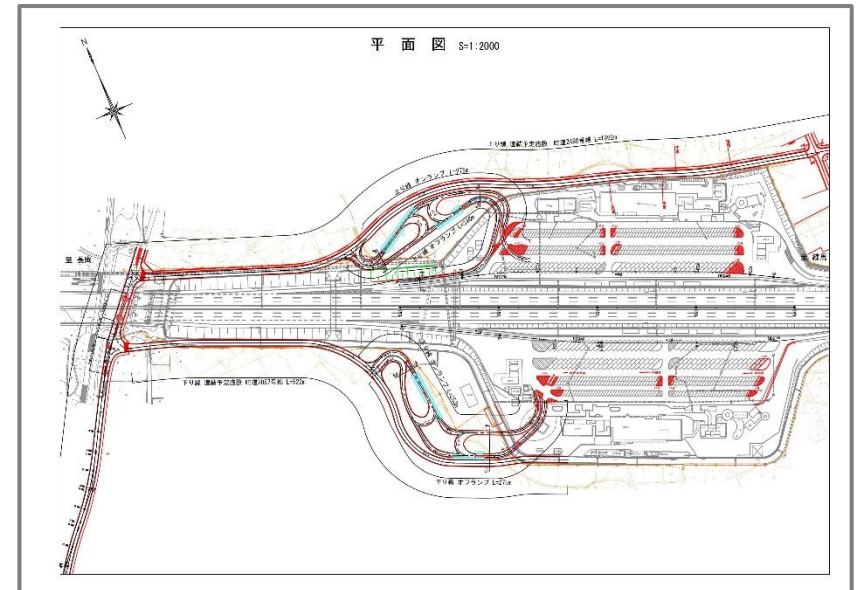
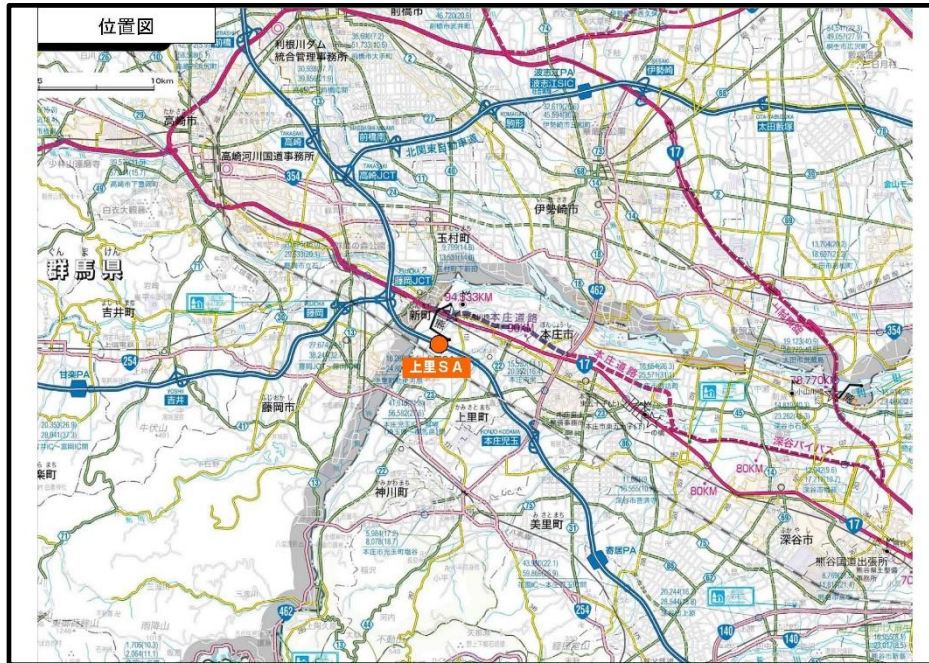
(5)地区協議会は、スマートICの供用後も継続して、その社会便益・安全性・利用交通量・管理・運営形態・利用促進方策等について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直すものとする。フォローアップは、供用後1年経過後速やかに1回実施し、以後必要に応じて実施するものとする。なお、従来の制度によるスマートICについても同様とする。

今回の地区協議会の目的

過去の「上里スマートIC地区協議会」開催状況

第1回協議会(平成23年2月25日)	<ul style="list-style-type: none">・スマートICに係る計画・検討経緯について・実施計画書(案)について・住民周知について
第2回協議会(平成26年3月14日)	<ul style="list-style-type: none">・(仮称)上里スマートICの名称案について・(仮称)上里スマートIC事業進捗及び今後の事業工程予定について
第3回協議会(平成27年10月20日)	<ul style="list-style-type: none">・工事の進捗状況について・交通誘導計画について・開通日について・開通式典計画について
上里スマートIC開通(平成27年12月20日)	
第4回協議会(平成29年12月20日) 第5回協議会(平成31年1月17日) 第6回協議会(令和2年1月24日) 第7回協議会(令和3年1月18日) 第8回協議会(令和4年3月4日) 第9回協議会(令和5年3月13日) 第10回協議会(令和6年2月14日) 第11回協議会(令和7年2月13日)	<ul style="list-style-type: none">・上里スマートIC運用開始後の状況について・利用促進のための取り組みについて

上里スマートインターチェンジの概要



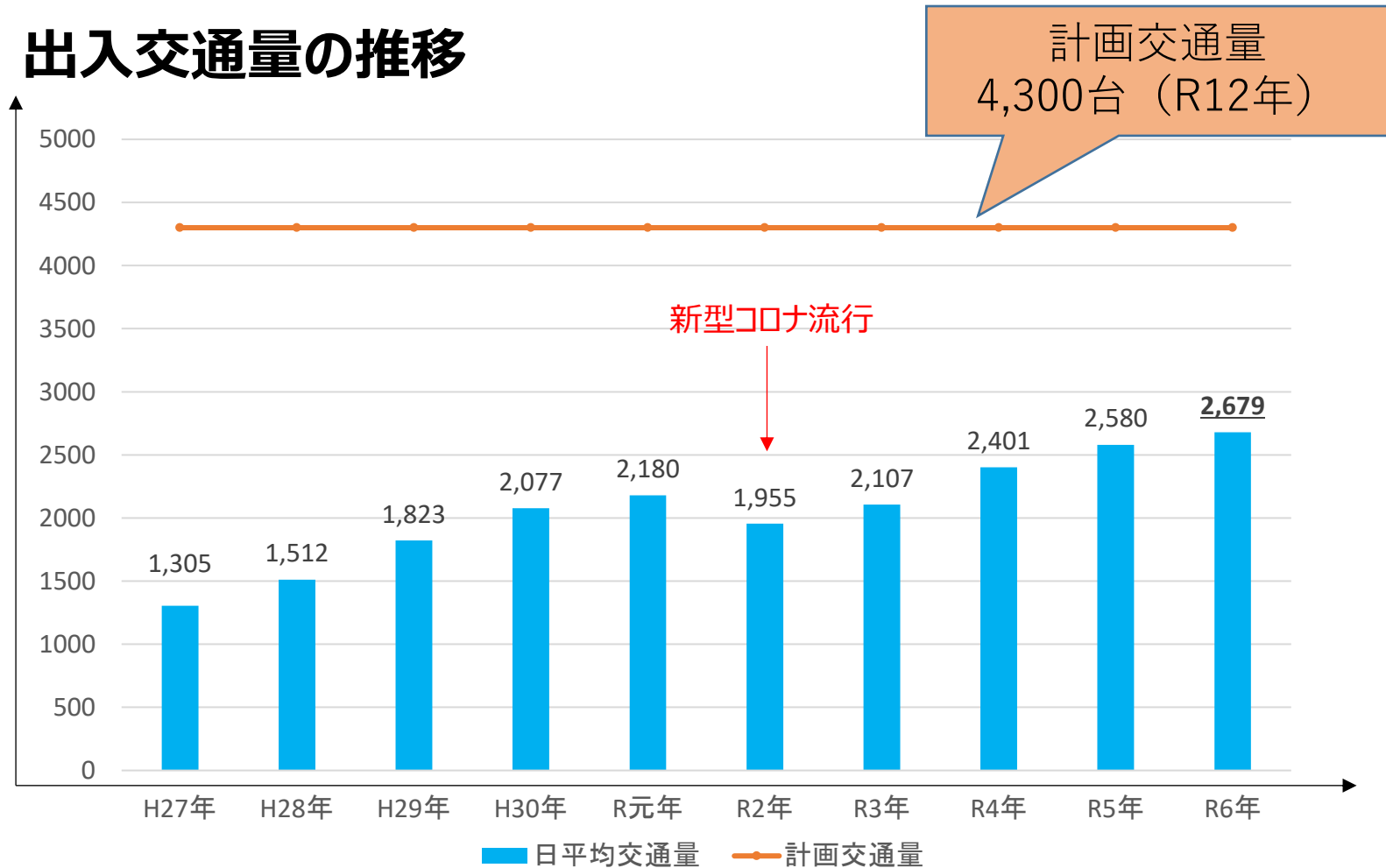
- ▶ 設置箇所 位置：関越自動車道上里サービスエリアに連結 所在地：埼玉県上里町大字五明地内
- ▶ 解放時間 24時間
- ▶ 利用可能車種 ETC車載器を搭載した全車種（長さ12m以下の車両）
- ▶ 運用形態 SA・PA接続型
東京方面（上り）、新潟・長野方面（下り）ともに乗り降り可能
- ▶ 導入までの経緯 平成19年9月 スマートIC関東連絡会登録
平成23年2月 住民説明会
平成23年2月～平成27年10月 第1回～第3回（仮称）上里スマートIC地区協議会
平成27年12月20日 上里スマートIC供用開始

フォローアップの内容

- 1) **利用状況について** …… P 6～11
- 2) **整備効果について** …… P 12～21
- 3) **利用促進方策について** …… P 22～30
- 4) **安全性、管理・運営形態について** …… P 31～34
- 5) **今後の予定について** …… P 35

利用状況について

① 出入交通量の推移

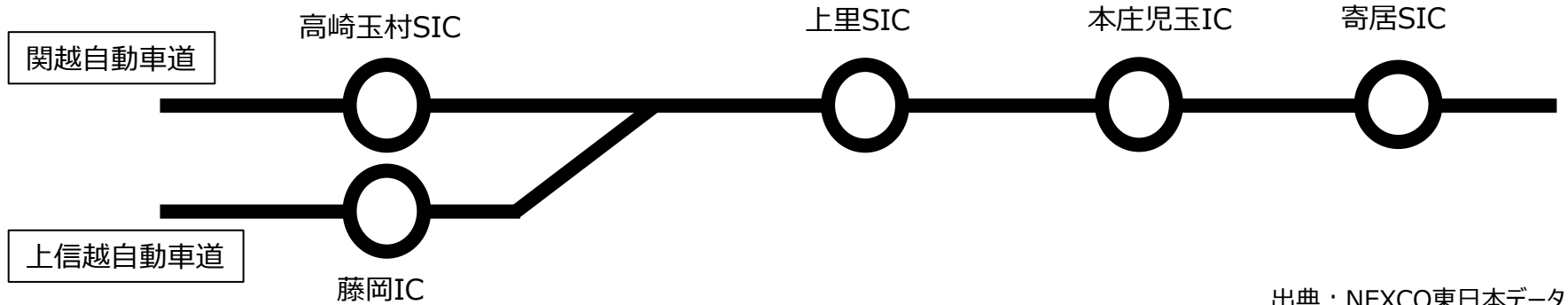


○令和元年までは右肩上がりに交通量が伸びていたが、令和2年に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開通後初めて減少に転じた。

○令和3年には感染症流行前の水準まで回復し、年々交通量は増加傾向にある。

利用状況について

② 前後IC等の出入交通量



出典：NEXCO東日本データ

	藤岡IC	高崎玉村SIC (H26年開通)	上里SIC (H27年開通)	本庄児玉IC	寄居SIC (R3年開通)	合計
整備前 (H26年)	12,010台/日	5,252台/日	0台/日	16,534台/日	0台/日	33,796台/日
整備後 (H30年)	11,087台/日	8,084台/日	2,077台/日	15,626台/日	0台/日	36,874台/日
増減 (H30-H26)	▲923台/日	+2,832台/日	+2,077台/日	▲908台/日	0台/日	+3,078台/日
整備後 (R6年)	10,485台/日	9,277台/日	2,679台/日	13,625台/日	3,301台/日	39,367台/日
増減 (R6-H26)	▲1,525台/日	+4,025台/日	+2,679台/日	▲2,909台/日	+3,301台/日	+5,571台/日

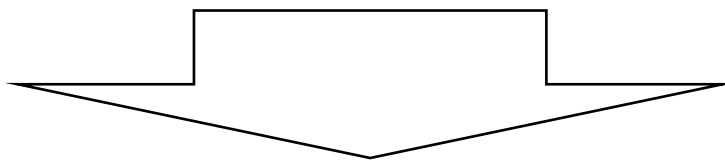
寄居スマートICを除いた台数としては、36,066台/日

→H26年の整備前と比較して、R6年時点の前後IC（寄居スマートIC除く）出入交通量は増加しているものの、感染症流行前のH30年時点が直近数値としてはピークとなっている。要因としては、感染症の影響に加え、H31/R1年下り線・R3年上り線が開通した寄居SICの影響を受けているものと推測される。

利用状況について

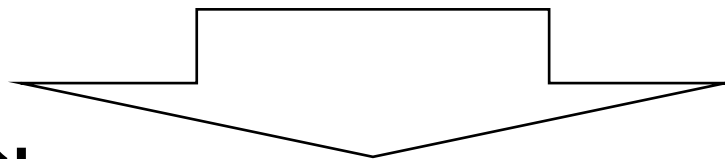
■まとめ

- ・当初見込んでいた計画交通量を下回っている。
- ・SICの利用者が年々増加傾向にある。



■分析結果

- ・平日では通勤時間帯の利用が多い。
- ・休日では日中の利用が多い。
- ・大型車の利用は増加傾向。
- ・関越自動車道沿い、特に群馬県中部・南部及び関越自動車道の起点である練馬からの利用者が多い。



■今後の対応方針

- ・SIC北側の観光拠点に向けた利用促進方を展開し、休日利用者を増やしていく。
- ・アクセス道路として整備を進めてきた神流リバーサイドロード開通後の利用状況を注視していくことに加え、適宜必要な周辺道路整備を進めていく。

整備効果について

■ 実施計画書に記載した社会便益

- ①産業
- ②生活
- ③観光
- ④渋滞
- ⑤防災支援

整備効果について

■ 整備効果の検証について

	目標(整備効果)	取り組み状況	目標の達成状況 整備効果	今後の対応
①産業	<ul style="list-style-type: none"> 上里SA周辺産業団地の整備・分譲 地元農産物の販売等を行う農業振興施設の整備(地元産業の活性化) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年 分譲開始 平成28年3月 全5区画完売 平成29年10月 4区画で操業開始 令和3年10月 全区画で工場等が操業開始 	<p>【達成】産業団地全区画の分譲、農村公園用地への産業振興施設(アグリパーク上里)の整備が完了</p> <p>上里SAの周辺事業者へのヒアリングではスマートICの整備効果が分かる結果となった</p>	引き続きスマートICを活用した産業振興を図っていく
②生活	<ul style="list-style-type: none"> 第三次救急医療施設へのアクセス性(搬送時間短縮、救命率向上) 首都圏や群馬方面の移動時間短縮(職住間移動の利便性向上で移住・定住を促進) 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和2年度】スマートIC下り線側(南側)の道路改良を行ったことによりアクセス性が向上 【令和3年度～】主要県道藤岡本庄線とスマートICを結ぶアクセス道路(神流リバーサイドロード)の整備を進めている <p>※令和8年3月開通予定</p>	<p>【順調】上里救急隊の令和2年度以降の高速出勤における上里スマートICの利用比率が100%で救命率の向上に貢献</p> <p>【順調】町民アンケートにより『住みやすさ』に貢献</p>	アクセス道路の整備によるアクセス性の向上について、今後も逐次の検証を進める
③観光	<ul style="list-style-type: none"> 町内観光施設へのアクセス向上 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和元年度】「このはなパーク上里」(上里SA周辺地区)が誕生 【令和3年10月】「このはな芝生広場」を整備 観光パンフレット等に『上里スマートIC下りてすぐ』など利便性を積極的に広報している 【令和5年度】「このはな芝生広場使用等」に関する要綱を整備 	<p>【順調】スマートIC整備により、観光入込客数が増加</p> <p>アグリパーク上里へのヒアリングにより、スマートICの開設が来客数の増や上里産野菜のPRに繋がっている</p>	引き続き、観光関連のチラシやSNS等にスマートICの活用による交通の利便性について、積極的に広報する
④渋滞	<ul style="list-style-type: none"> 交通分散による混雑緩和(既存の主要幹線道路網の交通負荷の分散、混雑緩和) 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和2年度】スマートIC下り線側(南側)の道路改良を行ったことによりアクセス性が向上 【令和3年度～】主要県道藤岡本庄線とスマートICを結ぶアクセス道路(神流リバーサイドロード等)の整備を進めている <p>※令和8年3月開通予定</p>	<p>【順調】本庄児玉ICに接続する国道462号上り線の交通量が整備前と比較して10%以上減少している</p> <p>アクセス道路である神流リバーサイドロードについては令和8年3月開通予定</p>	アクセス道路の整備による周辺の幹線道路に対する影響について、今後も逐次の検証を進める
⑤防災支援	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時のリダンダンシー確保 防災拠点機能の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年6月2日の降雹被害の際に、町内の施設及び住宅の窓ガラス破損の応急処置用ブルーシートの調達について、上里スマートIC(高速道路)を利用することで迅速に対応できた 	<p>【順調】災害時における相互応援に関する協定を締結している自治体や企業との相互応援について、スマートICを活用した迅速な対応が可能となっている</p>	災害発生時に、スマートICを活用し、防災時の相互応援協定による備蓄品等の確保や、迅速かつ効率的な物資輸送を行えるよう平時から協定締結団体との協議や研修等を行う

整備効果について

①産業

【上里サービスエリア周辺整備事業の概要】

- ▶事業場所 上里町大字五明・勅使河原
- ▶事業計画主体 [用途]上里町土地開発公社で買収後造成分譲
[施設整備]民間及び町
- ▶事業面積 [全体]17.6ha
[上り側]約6.0ha [下り側]約11.6ha
- ▶施設計画 [上り側]農村公園(の産物直売場)、農業団体等
による施設整備 [下り側]工業(産業)団地



整備のねらい

- ◆上里SA周辺地区産業団地の整備・分譲
- ◆地元農産物の販売などを行う農業振興施設の整備
農村公園、農業団体等の施設整備による農業の振興
(地元産業の活性化)



整備効果

◆上里SA周辺地区産業団地の整備・分譲

平成25年分譲開始

●関越自動車上り線側(4区画)

A区画 令和3年10月 上里いどり庵操業開始

B区画 平成27年11月 上里カンターレ操業開始

CD区画 平成26年2月 中央軒煎餅上里工場操業開始

●関越自動車下り線側(1区画)

令和元年1月 ダイワハウスDPL埼玉上里操業開始

◆地元農産物の販売などを行う農業振興施設の整備

平成29年11月、埼玉ひびきの農業協同組合により農業振興施設「アグリパーク上里」が操業開始。施設内には農産物直売所、地元食材を使用したレストラン、情報発信コーナーが整備されている。

～事業者の声～

「上里スマートICを利用した他県ナンバーの来客が多い。観光バスも多く利用されていると実感している。」

整備効果について

②生活

整備のねらい

❖ 第三次救急医療施設へのアクセス性

より短時間での高速道路アクセスにより、救命率等の向上が期待できる。

❖ 首都圏や群馬方面の移動時間短縮

職住間移動の利便性向上で移住・定住の促進

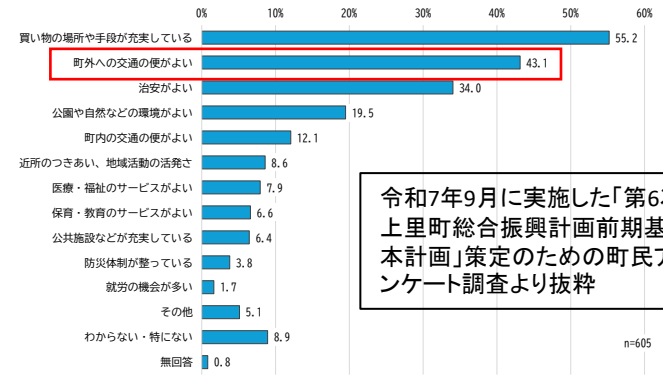


整備効果

- ❖ 児玉郡市広域消防本部上里分署救急隊の高速道路を使用する出動件数が整備前と比較し増加しているなか、令和2年以降は上里スマートIC利用率が100%であり、救命率の向上に大きく寄与している。
- ❖ 町民アンケート調査で、上里町が「住みよい」「まあまあ住みよい」と回答した場合の住みよさと感じる点を伺う設問に対し、『町外への交通の便がよい』の回答が43.1%と2番目に多いことから、スマートICの整備が住みよいまちづくりに貢献している。



ルート①(上里スマートICと高速道路を使用)とルート②(一般道を使用)では、前橋赤十字病院へ搬送する場合、ルート①の方がルート②よりも約12分短縮でき、致命率の向上が期待できる。



令和7年9月に実施した「第6次上里町総合振興計画前期基本計画」策定のための町民アンケート調査より抜粋

本町には、町外へアクセスできる公共交通機関として、鉄道（JR高崎線の神保原駅）及び路線バス（朝日自動車(株)）がある。

一方で、本町の運転免許証保有率は80%を超えており、令和5年度に実施した公共交通に関するアンケートでは、公共交通利用へ変更したくない理由に「自家用車が便利」との回答が75.3%であることから、町民の主たる移動手段が自家用車となっている状況である。

このことから、上記の町民アンケートの「町外への交通の便がよい」には、上里スマートICの整備を含む町外へのアクセス可能な道路交通網の整備によるものが大きいと推察できる。

児玉郡市広域消防本部上里分署救急隊の出動状況

内容	年											
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
高速出動件数	4	9	27	30	31	28	11	13	14	24	31	
内数	上里スマートICを利用した出動数	集計なし	集計なし	21	29	18	19	11	13	14	24	31

上里分署へのヒアリング【R7】：

高速道路上で発生した事故などへの対応の際、整備前は中央消防署救急隊が本庄・児玉インターから出場することが多かったが、整備後は、上里分署救急隊が上里スマートICを利用して出場できるようになり、現場到着までの時間を短縮することができている。

整備効果について

③-1 観光

■ 整備のねらい

❖ 町内観光施設等へのアクセス性向上

町内各観光スポット等へのアクセス性を高め、高速道路沿道地域をはじめとする広域から当町へ観光客の誘客を図る。

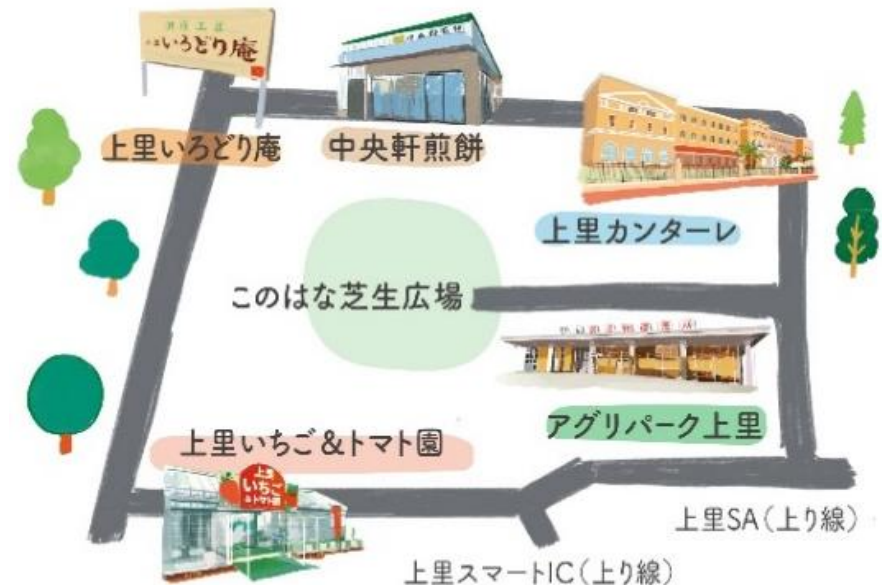
■ 整備効果

- 交通アクセスの利便性から、上里サービスエリア周辺地区（愛称：このはなパーク上里）に観光客を呼び込むことができる店舗が複数立地し、当町の観光入込客数は大幅に増加。交流・関係人口の拡大や雇用の増加にも寄与。
- マイカーだけでなく観光ツアーの立ち寄りスポットとして観光バスも呼び込むことができる、まさに「当町の中心的な観光拠点」となった。
- 上里SICから約4 kmに位置する上里ゴルフ場においても、上里SIC開通前と比較し来場者数が年間約1万人増加している。

観光拠点「このはなパーク上里」の
観光入込客数が大幅増 ↗

その他の町内観光スポットを
「知る・訪れる」きっかけに。

上里町の魅力UP



整備効果について

③-2 整備効果を実感する声



中央軒煎餅上里工場直売店 店長様

店舗の来客数は年々増加しており、特に土日祝日には、多くのお客様にお越しいただいています。スマートICすぐの立地ということもあり、当店へお越しいただくお客様の多くは、関越道を利用して群馬や新潟方面への旅行途中にお立ち寄りいただく方が多くなっています。また、誘客・物流面でのメリットだけでなく、本社（東京都板橋区）と店舗との移動時間が短縮され業務の効率UPにつながっています。

JA埼玉ひびきの アグリパーク上里 マネージャー様

来客数は年々増加し売上も増加しています。開通以前の当直売所は地産地消がメインでしたが、開通後は遠方からも来店いただけるようになり地産外消にもつながっています。上里産農作物が全国のお客様に「知って」「食べて」いただけるようになり大変嬉しく思います。生産者にとっても、作り甲斐につながっていることと思います。その他、輸送時間の短縮により、千葉県産海産物（干物等）の取り扱いも可能になりました。



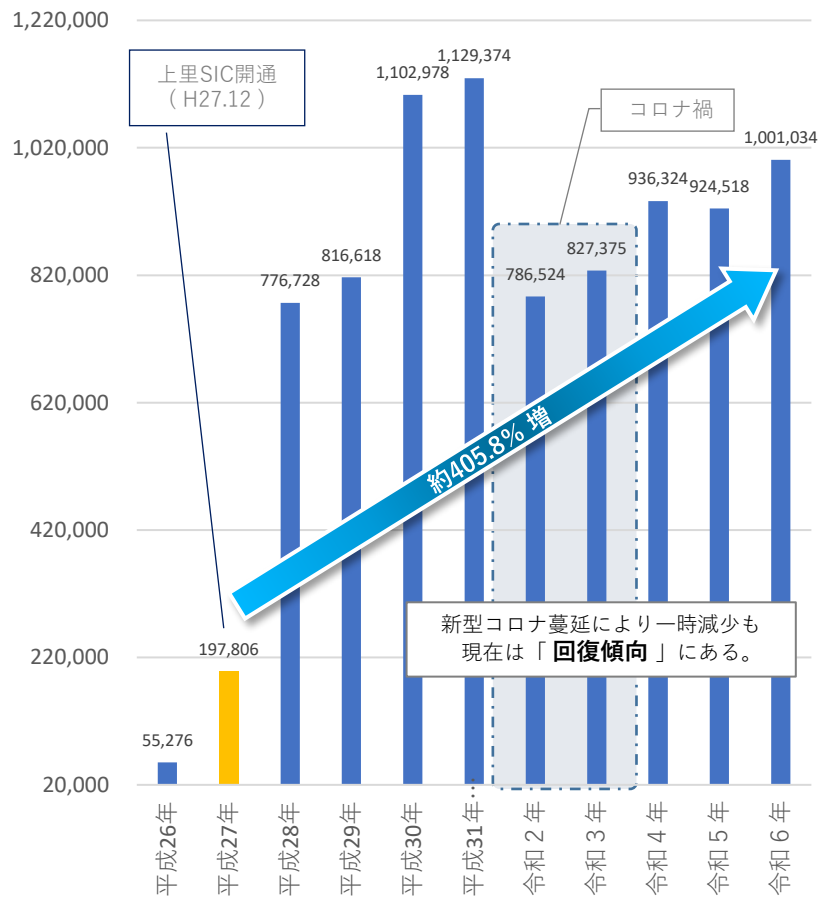
上里カンターレ 店舗主任様

スマートIC開通により県内外、首都圏をはじめ遠方からお客様にお越しいただいています。当店は、スマートICすぐの立地ということもあり、大手旅行会社が企画する観光バスツアーの立ち寄りスポットとしても数多くご利用いただいています。官民連携事業やイベント開催の影響もあり、休日には駐車場が満車になることが多く、これはなパーク上里が町の観光拠点となっています。日帰りバスツアーの番組で芸能人が立ち寄るなど、メディアに取り上げられることも増えました！

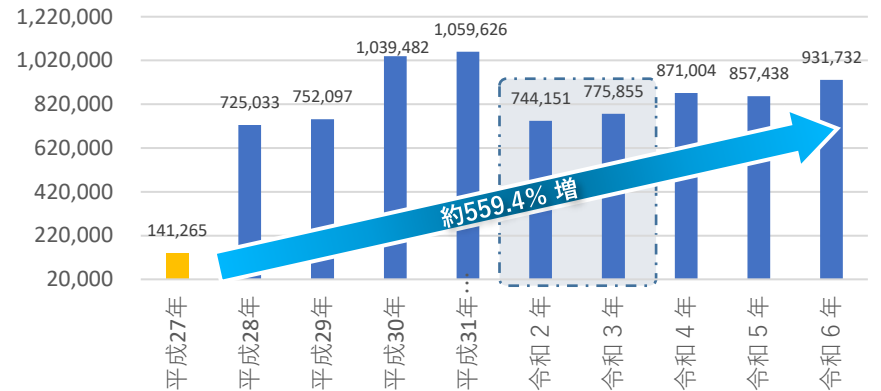
整備効果について

③-2 観光入込客数

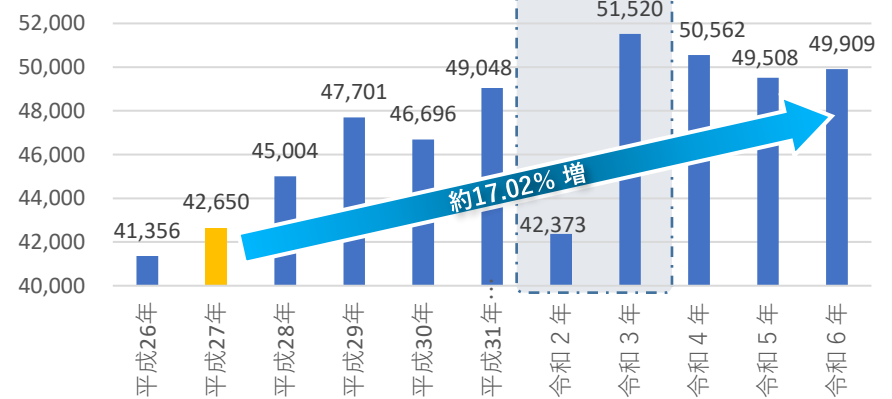
上里町観光入込客数（H26年～R6年）



【観光入込客数】このはなパーク上里（H27年～R6年）



【観光入込客数】上里ゴルフ場（H26年～R6年）



整備効果について

現時点での最新状況となりますので、令和6年度と同一の内容となりますが、令和7年度についても継続して記載しております。

⑤-1 防災支援

整備のねらいと効果

- ❖ **防災拠点機能の確保** ⇒各市町との災害時の相互応援協定による備蓄品等の確保や、災害発生時における周辺地域からの迅速かつ効率的な物資輸送や人命救助に貢献している

平時からの取組事例

令和元年10月28日に締結した「三芳町・上里町災害時における相互応援に関する協定」に基づき、平時からの連携強化を図るべく、令和5年7月28・29日の2日間、三芳町職員実務派遣研修により三芳町職員の受入れを行った。



研修に当たり、町長、副町長にあいさつをする三芳町職員の様子



「上里町防災フェスティバル」であいさつをする三芳町大野副町長の様子



「上里町防災フェスティバル」で三芳町の出店ブースで町のPRをしている様子



研修の一環で「上里町防災フェスティバル」会場の片付けをしている様子



関越自動車道経由でおおよそ1時間の利便性を生かし、災害により被害を受けた場合の、迅速かつ円滑な応急対策及び復旧活動に資することが期待できる

整備効果について

現時点での最新状況となりますので、令和6年度と同一の内容となりますが、令和7年度についても継続して記載しております。

⑤-2 防災支援

災害時に上里スマートIC【高速道路】を活用した事例



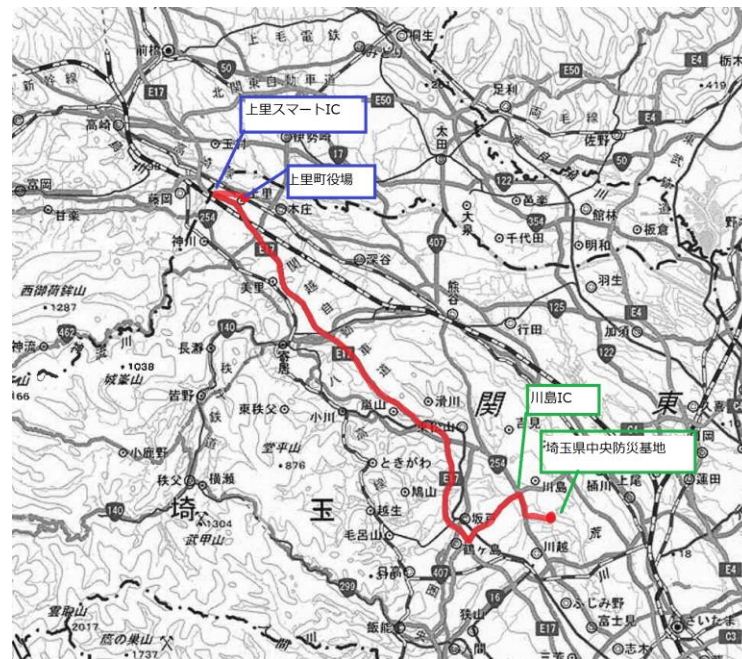
※災害協定締結の企業からの調達の様子
(高速道路を利用して運搬された)



※町内小学校校舎の窓ガラス破損の様子



令和4年6月2日に発生した降雹により、町内の24公共施設及び住宅の窓ガラスが破損し、約1700世帯にブルーシートの配布を行った。ブルーシートが町保有分では対応できないため、災害協定に基づく事業者からの調達や埼玉県中央防災基地(川島町)へブルーシートを取りに行った。その際、上里スマートICを使用した高速道路の利用により迅速に対応できた。



令和4年6月2日の降雹被害の際、高速道路(上里SIC～川島IC)の利用により迅速な物資(ブルーシート)輸送を行うことができた

利用促進方策について

◆ 上里サービスエリア周辺地区の整備【概要】

町の計画における「上里サービスエリア周辺地区」の位置づけ

町の計画における位置づけ
「本町の中心的な観光拠点」
「人・もの・仕事充実した広域交流拠点」

食と産業が集う広域交流
 拠点の整備



新鮮野菜・果樹の収穫体験



新鮮地場野菜・特産品の直売場



（多彩なイベント開催）
 イルミネーション、キャンドルナイト、花火大会等



《地区構想のイメージ》

上里SA周辺地区の愛称

全体構想

ゾーン構想

公園ゾーン

多彩な集客イベントの実施と町有地等の活用による公園整備を検討します。地区周辺事業者が操業する中心地に位置することからも、企業と連携したイベント開催等、用途を踏まえた整備を検討します。

◆参考：多彩な集客イベントに活用できる広場・公園、ライトアップ、噴水、音楽演奏 等



農業体験ゾーン

多くの農家をはじめ関係機関の理解と協力を得ながら、観光農業や体験農園など新たな取り組みを推進します。また、周辺地区民間企業と連携して多種多様なイベント等を開催することにより、高速道路を利用する多くの人の目に入り、効果的な宣伝及び集客を見込みます。

◆参考：収穫体験などが楽しめる体験農園、果樹狩りなどの観光農業、花公園、マルシェ 等



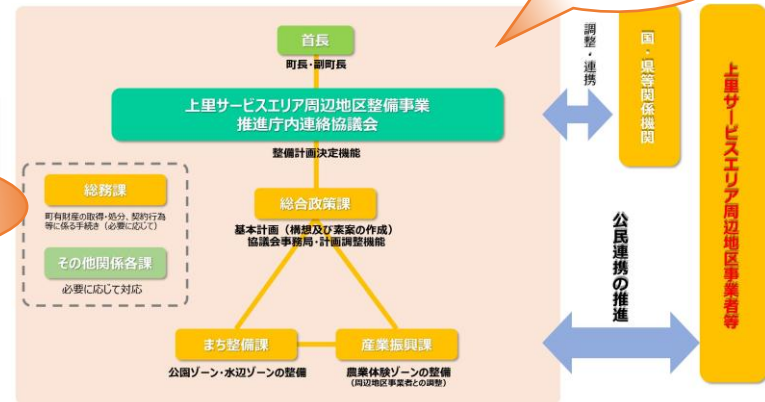
水辺ゾーン

地域資源などを活かし、河川空間とまち空間が融合する空間形成や、身近な自然に安全に楽しく触れられる自然体験・環境学習の場の検討も含め、地域住民も来訪者も楽しめる親水性のある新たなレクリエーション拠点の整備を検討します。

◆参考：水辺の楽校、かわまちづくり、バーベキューサイト、サイクリングロード、花公園 等



取組体制



このはなパーク上里

上里サービスエリア周辺地区

利用促進方策について

◆ 上里サービスエリア周辺地区の整備【農業体験ゾーン】

農業体験ゾーン

多くの農家をはじめ関係機関の理解と協力を得ながら、**観光農業や体験農園など新たな取り組みを推進**します。また、周辺地区民間企業と連携して**多種多様なイベント等を開催**することにより、高速道路を利用する多くの人の目に入り、効果的な宣伝及び集客を見込みます。

◆参考：収穫体験などが楽しめる体験農園、果樹狩りなどの観光農業、花公園、マルシェ 等



■ 実施状況

田んぼオーナー事業（主催：JA埼玉ひびきの）

- 農業体験ゾーン内に位置する田んぼを区画割りし、1年間限定のオーナーを募集。農業や食への興味・関心の醸成を目的とする事業。
- 実施圃場での田植えや稲刈り体験に加え、農業体験ゾーン内圃場にて旬野菜の収穫等の農業体験イベント開催。秋には、実施圃場で収穫した「かな清流米（埼玉県特別栽培農産物）」1袋（30kg）をプレゼント。
- 毎年好評をいただいております。上里SICに近接の圃場で農業体験ができる利便性から、県内だけでなく、県外在住者（特に東京都）の参加も多い。特に、今年度は、短期間で定員を大きく上回る申込があった。
- 本事業は、ふるさと納税返礼品として登録しており、ふるさと納税ポータルサイトをきっかけに寄附、参加する方も多い。

■ 今後の方針

本事業を主催するJA埼玉ひびきのとの連携を密にし、地元農家、地権者及び関係機関の協力を獲得していく。また、観光農園や体験農場等の取り組みを推進していく。

【参考】令和7年度オーナー居住地

都道府県	地域等	オーナー数	区画数
埼玉県		19	21
	上里町	1	1
	本庄市	7	8
	深谷市	2	2
	熊谷市	1	1
	所沢市	2	2
	加須市	1	2
	鴻巣市	2	2
	川口市	2	2
さいたま市	1	1	
東京都		20	22
	23区	15	17
	多摩地域	5	5
神奈川県		3	4
	川崎市	2	3
	茅ヶ崎市	1	1
茨城県		1	1
	守谷市	1	1
大阪府		1	1
	箕面市	1	1
合計		44	49

※ JA埼玉ひびきのの作成資料より引用

利用促進方策について

◆ 上里サービスエリア周辺地区の整備【公園ゾーン】

公園ゾーン

多彩な集客イベントの実施と町有地等の活用による公園整備を検討します。地区周辺事業者が操業する中心地に位置することからも、企業と連携したイベント開催等、用途を踏まえた整備を検討します。

◆参考：多彩な集客イベントに活用できる広場・公園、ライトアップ、噴水、音楽演奏 等



■ 整備状況

- ・令和3年10月8日オープン
- ・令和4年度
外周フェンス、ベンチを整備
公園内の観光看板の内容更新
- ・令和5年度
「このはな芝生広場使用等に関する要綱」を制定
- ・令和6年度
イベント利用時の電源確保のため、電気施設を整備

■ 今後の整備(活用)予定

- ・スマートIC隣接の立地を活かしたイベント開催

【整備概要】

芝生広場(約4,000㎡)、水飲み水栓(2箇所)
遊歩道、植樹帯、外周フェンス、ベンチ



利用促進方策について

◆ 上里サービスエリア周辺地区の整備 【水辺ゾーン】

水辺ゾーン

地域資源などを活かし、河川空間とまち空間が融合する空間形成や、身近な自然に安全に楽しく触れられる自然体験・環境学習の場の検討も含め、地域住民も来訪者も楽しめる親水性のある新たなレクリエーション拠点の整備を検討します。

◆参考：水辺の楽校、かわまちづくり、バーベキューサイト、サイクリングロード、花公園 等

令和7年度の取組内容

水辺ゾーンの利活用に向け、民間事業者から広くアイデアや事業提案を募集するため、埼玉県主催の「ガバメントピッチ」に参加し、**複数者から具体的な提案**を受けました。



令和8年度の取組内容(予定)

ガバメントピッチで提案いただいた企業と連携し、水辺ゾーンの活用可能性を検証するため、**社会実験**の実施を予定しています。

その結果を踏まえ、水辺ゾーンの将来的な活用の方向性を整理します。



水辺ゾーン内における利活用可能エリア 約**13,500**m²

※令和6年度上里サービスエリア周辺地区水辺ゾーン整備検討業務委託による調査結果より

【参考】ガバメントピッチにおける主な提案内容

- ・トレーニング遊具の仮設置
- ・路面活用スケートボード体験会
- ・芝生スペースでストレッチ・ヨガ
- ・SUP・パクラフト
- ・キャンプ・BBQ
- ・体験プログラム(火起こし等) 等



利用促進方策について

◆ アクセス道路の整備（全体）

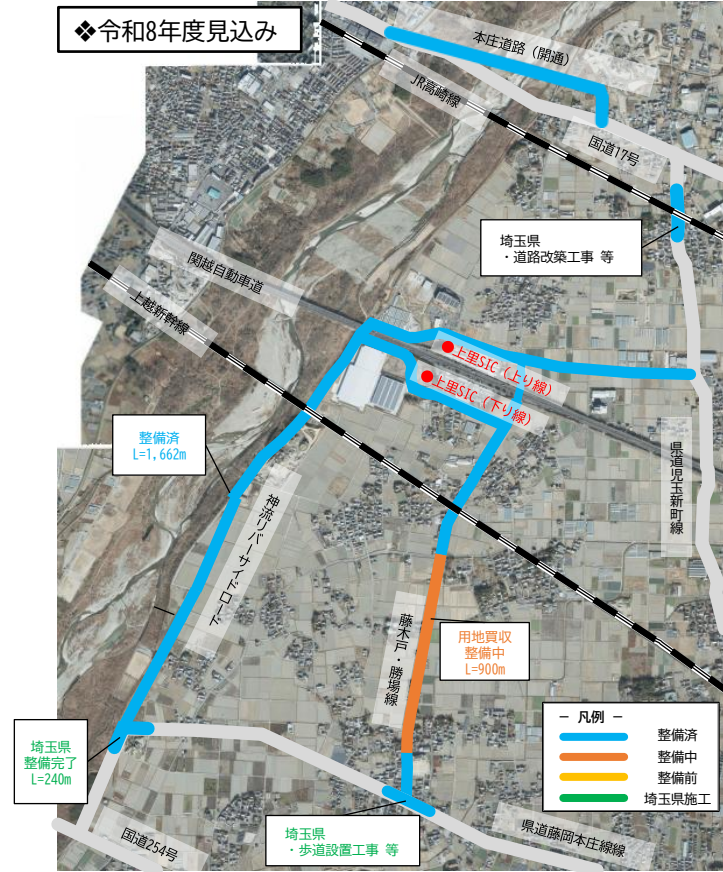
■ 現在の整備状況

- ・【神流リバーサイドロード】令和7年6月から築造工事を実施（L=180m、200m）



■ 今後の取り組み

- ・【神流リバーサイドロード】令和7年度に工事完成、供用開始予定



利用促進方策について

◆ アクセス道路の整備（神流リバーサイドロード整備状況）

①整備中 L=180m 北側より望む



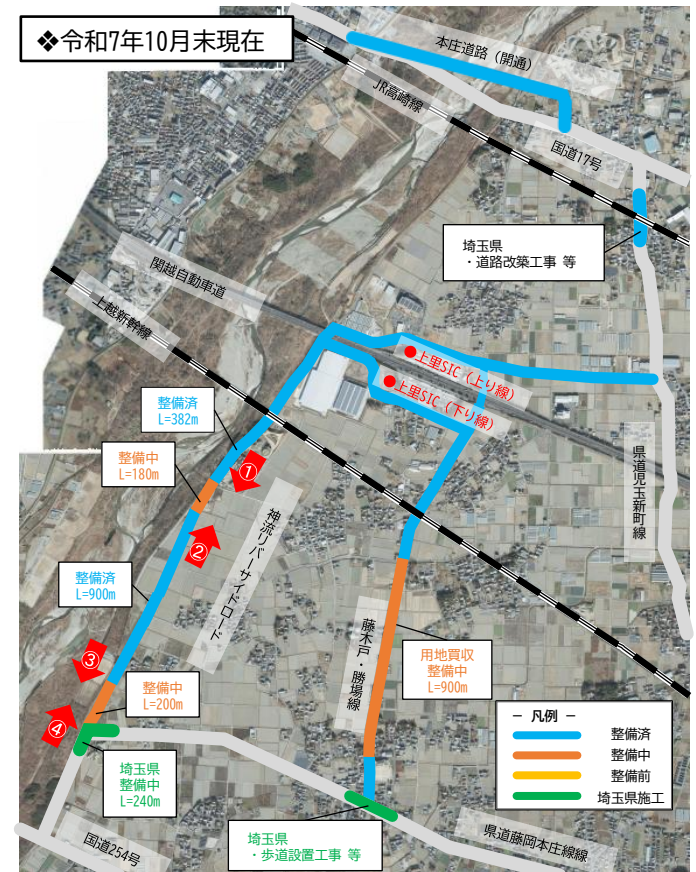
②整備中 L=180m 南側より望む



③整備中 L=200m 北側より望む

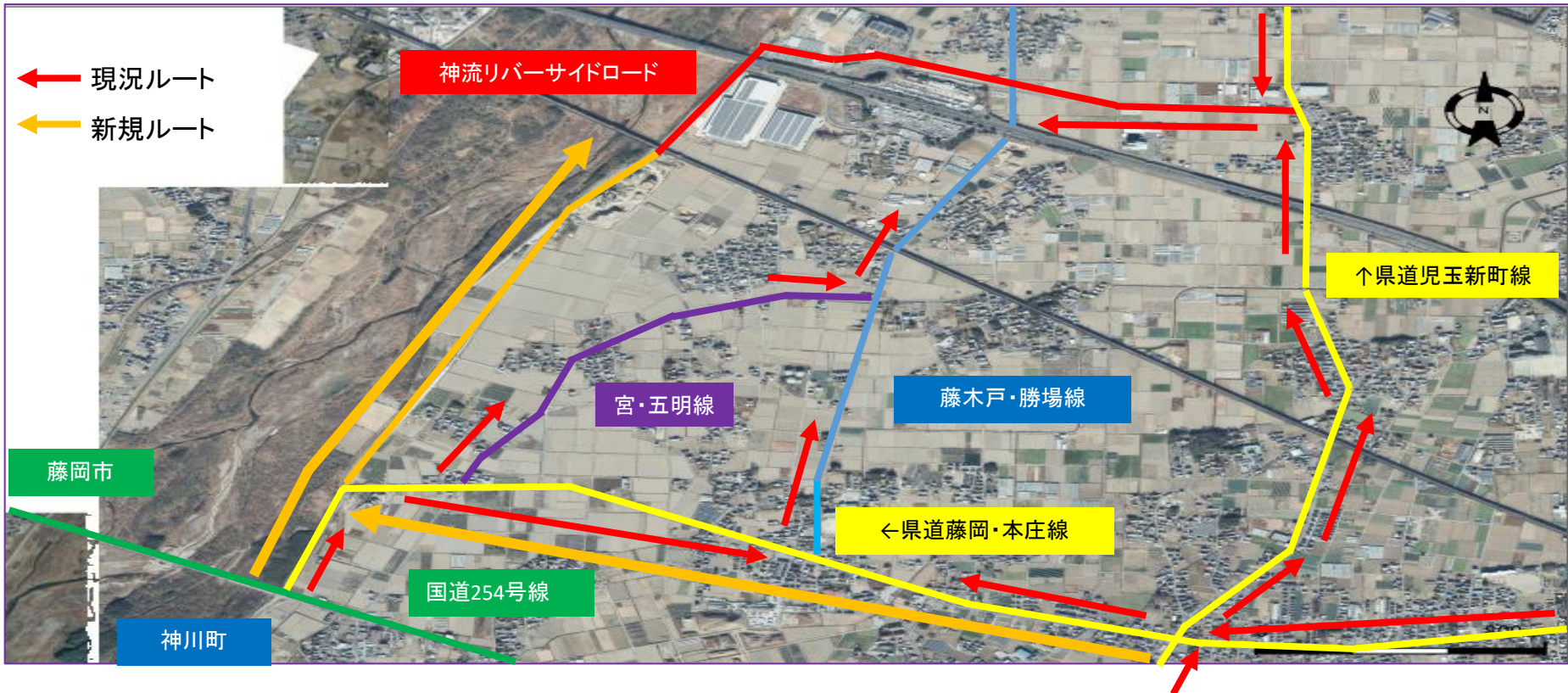


④整備中 L=200m 南側より望む



利用促進方策について

◆ アクセス道路の整備（整備によるSIC利用増加見込み・効果）



○現在、群馬県（藤岡市）方面から上里SICへアクセスするにあたっては、町道である藤木戸・勝場線並びに宮・五明線を経由するルートが主となっているが、神流リバーサイドロードが整備されることにより、利便性向上及び交通量の分散が図られることで、上里SICへのアクセスが増加するとともに、藤木戸・勝場線並びに宮・五明線の交通安全性が高まるものと推測される。

利用促進方策について

◆ 広報・魅力発信に関する取組

■ 令和7年度の主な取り組み

○ 広報用印刷物（パンフレット、ポスター）の作成、配布

上里SA周辺地区（このはなパーク上里）PRチラシや、町観光ガイド「今、上里キブン（図1）」、「上里梨マップ」を県内外の観光施設等に設置しているほか、各種イベント等で来場者へ配布し、上里SICを活用した誘客促進を図っている。

〈参考〉配架場所・・・県内外計46か所（R7.12.12現在）
⇒埼玉県、群馬県、東京都、長野県、千葉県
配架部数・・・約 32,000部／年



図1 町観光ガイド「今、上里キブン」

○ SNS（Instagram）、HPの運用

町公式Instagram「今、上里キブン（kamisato_kanko）」にて観光ガイドで伝えきれない旬の観光情報を投稿し魅力発信。投稿に、上里SICの利用を促す文言を記載し誘客。また、町HPを活用した情報発信も実施。

○ 官民連携による魅力発信

スターバックス コーヒー 上里SA各店と連携し、店内にて観光パンフレット設置のほか、コミュニティボードにて旬の観光・物産情報を発信（図2）。お客様に対し、店員から直接「温かみ」のある観光情報等の案内も。



図2 スターバックスの店内で観光情報を発信

■ 今後の取り組み

パンフレットをはじめとする広報用印刷物のみならず、デジタル媒体を効率的・効果的に活用し、県内外に対し継続的にプロモーションを展開する。

利用促進方策について

◆ 誘客促進に関する取組（イベント・物産）

■ 令和7年度の主な取り組み

○ NEXCO東日本と連携協定締結（5月22日）

それぞれが有する資源を有効活用することにより、住民サービスの向上と地域社会の活性化に資するとともに、関越自動車道 上里SAにおける利用者の利便性向上と利用拡大を目的に、観光・物産分野における連携協定を締結（図3）。

○ 「このはなmarché 2025」開催（10月4日）

このはな芝生広場を会場に、町商工会やJA、町内事業者等と連携したマルシェを開催（図4）。出店者数は計34店舗。

〈参考〉主催・・・上里町観光協会

○ 官民連携による6次化商品「上里梨リキュール」の販売

キズや日焼けなど見栄えの理由で規格外となってしまった上里梨にフォーカスし、廃棄量削減と上里梨の新たな魅力創出を目的に、令和6年度官民連携により開発・発売（図5）。令和7年度も引き続きアグリパーク上里、カンターレをはじめとする県内5店舗で販売中。



図3 NEXCO東日本との連携協定締結式



図4 「このはなmarché2025」



図5 上里梨リキュール「Kamisato 月にあこがれた梨 -日本酒仕立て-」

■ 今後の取り組み

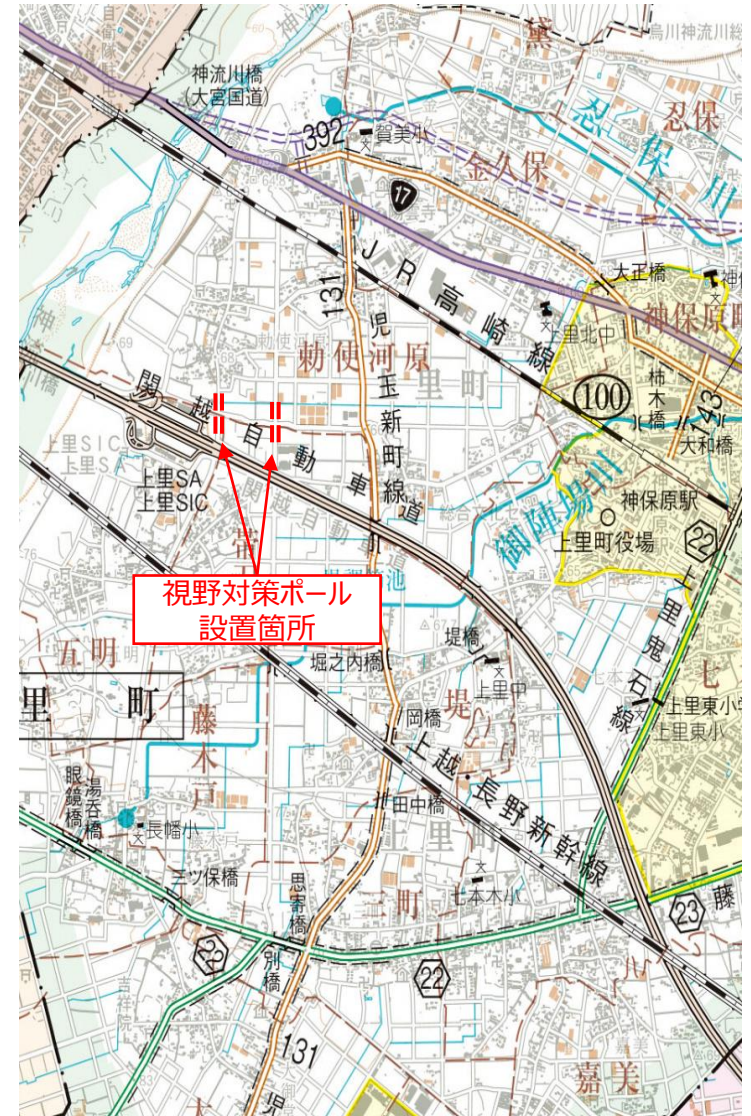
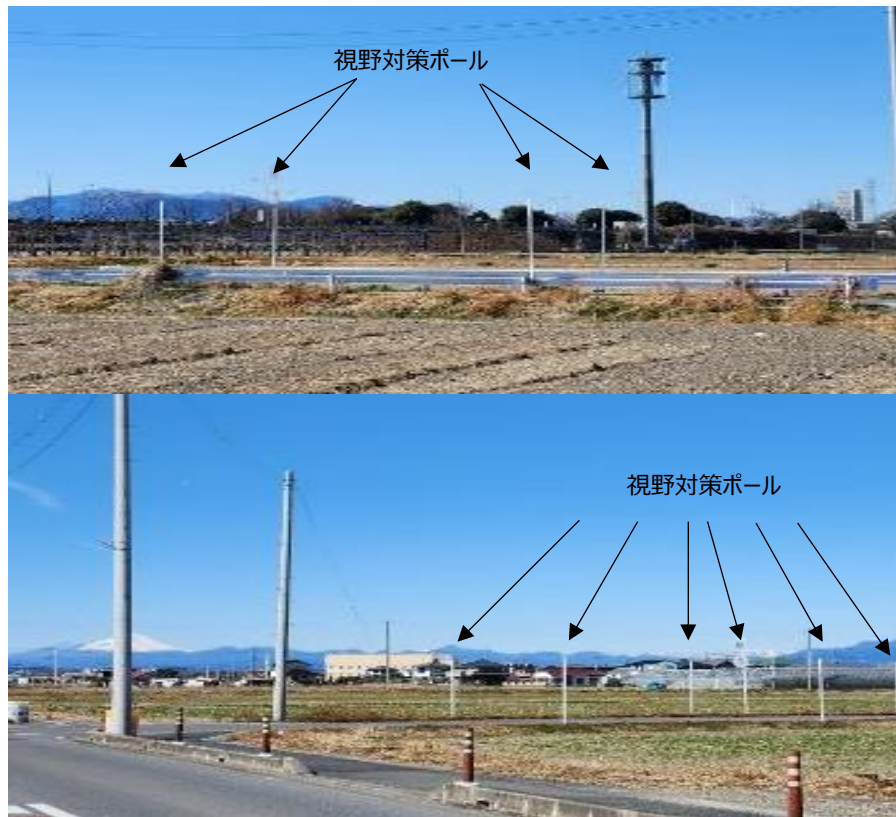
継続的にSIC利用促進を図るため、行政主導だけでなく官民共創による誘客施策を企画・展開していく。

安全性、管理・運営形態について

②上里スマートIC周辺地域

○視野対策ポール

- ・見通しの良い道路で発生しやすいコリジョンコース現象による事故を予防するため、上里スマートIC周辺の交差点部に令和3年2月、視野対策ポールを等間隔で設置した。



安全性、管理・運営形態について

②上里スマートIC周辺地域

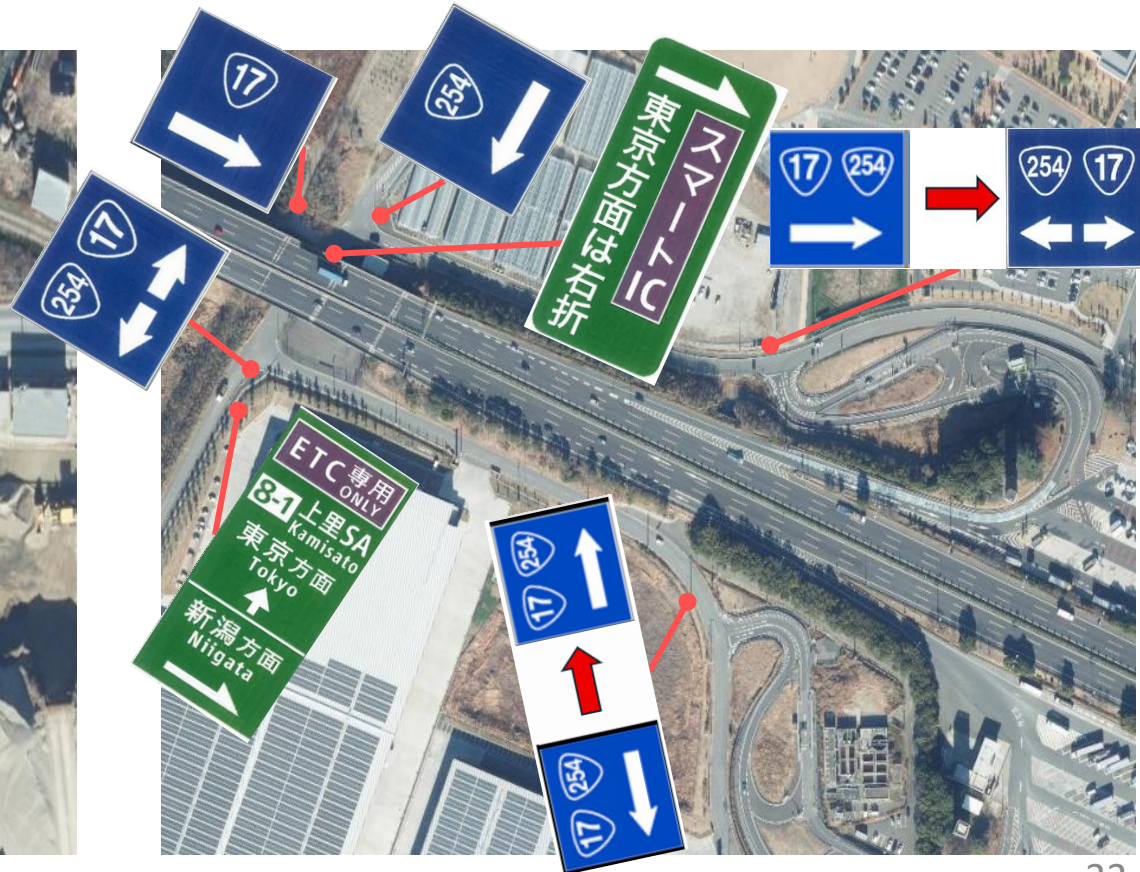
○道路標識

・神流リバーサイドロードの開通に伴い、道路案内標識設置を進めております。

県道藤岡本庄線との合流地



上里スマートIC周辺



安全性、管理・運営形態について

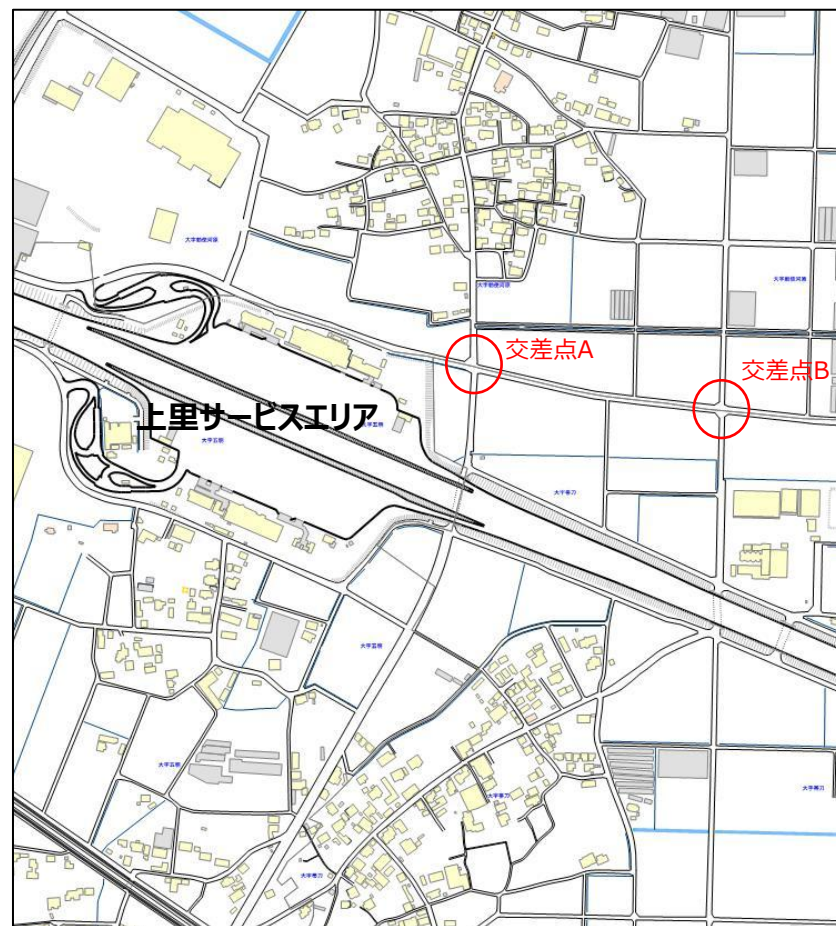
○事故発生件数

・上里スマート I C 整備後、交差点 A・B での事故発生件数は減少しておりましたが、令和5年、6年と増加している。特に、交差点Aでの事故件数が増加している。

・事故原因等を関係機関と共有し、事故の未然防止のため、逐次対策を検討していきます。

資料提供：埼玉県本庄警察署（令和7年10月31日現在）

期間	交差点A			交差点B			合計
	人身	物損	小計	人身	物損	小計	
H30年	1	3	4	1	1	2	6
H31/R1年	1	2	3	2	2	4	7
R2年	0	1	1	2	4	6	7
R3年	1	1	2	2	0	2	4
R4年	0	2	2	1	1	2	4
R5年	3	1	4	2	0	2	6
R6年	0	5	5	2	1	3	8
R7年 10月末時点	1	1	2	0	1	1	3



今後の予定について

